

月間騰落レポート:有望な通貨ペアに絞った取引を

はじめに

為替相場の分析をする際、それぞれの通貨ペアごとに見ていくのが一般的だが、多くの通貨ペアの騰落率を並べていくと、一定の傾向が見えてくることもある。右図は各通貨ペアの当該月終値とその前月の終値から単純に比較し、一覧化したものである。赤く塗りつぶされている欄は「買いで持ち続けていれば利益が出たもの」、青く塗りつぶされているものは「売りで持ち続けていれば利益が出たもの」となる。この表からその月の通貨の動きの特徴を読み解き、その背景に何が合ったか分析することで、今後の相場を見ていく上でのポイントを確認していきたい。

2月の為替相場の動きの傾向

2014年2月の為替相場は、騰落率から見ると買っぱなしで最も利益が出たのは「NZドル/米ドル(+3.7%)」だった。また、売りっぱなしで最も利益が出たのは「ドル/ランド(-3.3%)」となった。

俯瞰してみると、全般的にドルや円が売られており、1月に大きくドルと円が買われていたところから転換したように見える。ただし、あまり勢いはない印象だ。例えば、1月のドル/ランドは6.0%の上昇となったが、2月のドル/ランドは3.3%の下落と、半分強程度しかドル安が進んでいない。図1の中で1月の値動きを大きく上回るような反転となったのは、NZドル/米ドル(1月:-1.6%→2月:+3.7%)くらいだろう。

図1：直近2カ月の各通貨ペアの騰落率

※Bloombergより前月終値と当月終値から算出

	2014年2月	2014年1月
1	NZドル/米ドル 3.7%	ドル/ランド 6.0%
2	NZドル/円 3.5%	ドル/カナダ 4.8%
3	ランド/円 3.2%	ドル/リアル 2.1%
4	スイス/円 2.7%	ドル/スイス 1.5%
5	ユーロ/ドル 2.3%	ドル/ルピー 1.4%
6	ユーロ/円 2.1%	ドル/人民元 0.1%
7	豪ドル/米ドル 1.9%	ユーロ/豪ドル 0.0%
	ポンド/ドル 1.9%	---
8	豪ドル/円 1.7%	ユーロ/スイス -0.4%
9	ポンド/円 1.6%	ポンド/ドル -0.7%
10	ドル/人民元 1.4%	ユーロ/ポンド -1.2%
11	ユーロ/ポンド 0.5%	NZドル/米ドル -1.6%
12	ユーロ/豪ドル 0.4%	豪ドル/米ドル -1.8%
13	カナダ/円 0.3%	ユーロ/ドル -1.9%
14	ドル/円 -0.2%	ドル/円 -3.1%
15	ドル/カナダ -0.6%	ポンド/円 -3.8%
	ユーロ/スイス -0.6%	---
16	ドル/ルピー -1.4%	スイス/円 -4.5%
17	ドル/リアル -2.8%	NZドル/円 -4.6%
18	ドル/スイス -2.9%	豪ドル/円 -4.8%
19	ドル/ランド -3.3%	ユーロ/円 -4.9%
20	---	カナダ/円 -7.5%
21	---	ランド/円 -8.5%

※赤=「買い」で利益が出たもの 青=「売り」で利益が出たもの

総じて幅の狭い値動きの背景には一体何があったのか、値動きの背景を確認しつつ、今後の流れについて考えてみたい。

※変動率は「(月間の最高値-月間の最安値)÷(最高値と最安値の中間値)×100」で算出

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

米ドル

2月の米ドル相場を見ると、月の前半は主要国株価が堅調に推移し、リスクオンムードが広がる中、円以外の通貨に対して概ねドル売り優勢で推移した。1月下旬に広がった新興国不安が後退した反動に加え、米1月雇用統計において、失業率が2008年10月以来の低水準となる6.6%へ低下したことを受けてしばらくリスク許容度が拡大したことも追い風となった。しかし、月後半に入って発表された米国の経済指標に冴えないものが並び、NYダウ平均の頭が押さえられると、そうした動きが一服。その後、ウクライナで親ロシア派と親欧州派が対立を深め、同国のヤヌコビッチ大統領が実権を失い、ロシアがクリミア半島への支配を強めるなど、地政学的リスクが浮上。ロシアがウクライナと軍事衝突する可能性まで浮上し、西側諸国とウクライナを挟んで対立を深めていったこともリスクオンムードに水を差す結果となった。米ドルはこの流れの中で買い戻されたため、2月の通貨ペアは全体的に値幅が小さい、という格好となった。

では、今後、米ドルはどのような展開になっていくだろうか。

米国独自の材料から考えた場合、方向感を見出すのはやや難しくなっている。米連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長は量的緩和の縮小ペースについて、現行の「米連邦公開市場委員会（FOMC）の度に100億ドル減額」というペースを崩そうとする様子を見せていない。目下のところ米国の経済指標は「好悪入り乱れる状態」であり、

イエレン議長が自らの考えを修正するとの思惑も発生しにくい。従って、米経済指標の結果に米ドルが反応することがあっても、同国独自の材料によって一方的に上下どちらかのトレンドが作られる可能性は高くないとも見る。

一方、外部環境はどうだろうか。

ウクライナについては、ロシアのプーチン大統領が3月4日に記者会見を行い、「クリミア半島への武力行使は『まだ』必要ない」「ロシアがウクライナに軍を派遣するのは極端な場合」等と発言したことで、ウクライナへの不安は一旦収まったかのように見えた。しかし、実際にはロシアはクリミア半島の実効支配を強めており、西側諸国は経済制裁を行う意向を示すなど、先進国同士の対立の色が濃くなってきている。

実際にロシア対西側諸国の戦争状態に陥る可能性は低い。しかし、ウクライナ南部・クリミア半島のクリミア自治共和国は11日にウクライナからの分離・独立宣言を採択し、宣言では「住民投票後に同自治共和国が独立国家になったのち、ロシアへの編入を求める方針」であることを明確に示唆。クリミア自治共和国のこうした行動を後押ししていると見られるロシアの半島介入行動に対して、ウクライナのヤツェニク首相は非難するなど、事態は混迷を深めており、とてもしリスクオンに転じることができる状況に至っていない。ロシア対ウクライナ、またロシア対西側諸国、という形に対立軸が複雑化しており、短期的な解決は望めないだろう。

また、ウクライナ情勢以外の部分についても、中国の景気減速懸念などもあり、明るいムードをもたらすニュースはあまりに少ない。ここからリ

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

スクオンムードに転じるとすれば、これらネガティブな材料に市場が「飽きてきた」タイミングで、楽観論を強かに後押しするような新規材料が出てくるような状況になる。しばらく時間が掛かりそうだ。リスク要因に囲まれた状態で主要国株価が頭の重い状態が続けば、米ドルには上昇要因になると見られる。

ただし、クリミア半島の戦争リスクが一段と高まるような状態や、中国の景気減速感がいよいよ鮮明とならない限り、「積極的に」リスクを回避するムードに転換する可能性もまた低い。良きにせよ悪きにせよ、事態の進展がなければ膠着感を引っ張り続ける可能性がある。

では、「当面は米ドル主導での動きが期待できない」と仮定すると、目先はどの通貨がより取引する対象として有望なのだろうか。

「買い」で最も期待出来るのは、利上げ期待の高いNZドルだろう。NZ中銀は約2年で2%以上の利上げの必要性を示唆しており、利上げが始まれば継続的なものになる見通しだ。3月13日の中銀理事会の後に近い将来の追加利上げを明確に示せば、一段の上昇余地が発生する。NZドルは利上げを見込んで既に上昇している上、小国の通貨のため、ウクライナなど新興国リスクが急激に意識される場面では大きく下押し可能性はある。つまり、リスク管理はやや難しくなるが、低レバレッジに押さえて、下げが一服したところで買いを入れていくスタイルならば、利益が取れるチャンスはまだあると見る。

なお、2月はNZドルに次いで南アランドも買

われたが、南アフリカに関しては、国内の電力不足の深刻化やストの激化などもあり、独自で買われる要素はさほどないと言える。この場面で取引するにはウクライナ情勢等の新興国リスクによるマイナス要因の方が強烈に反映される可能性があるため、足元では手控えたいところ。他の新興国通貨も同様と見る。

以上

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

毎月の騰落率一覧

※Bloombergより前月終値と当月終値から算出

	2014年2月	2014年1月	2013年12月	2013年11月	2013年10月	2013年9月	2013年8月	2013年7月	2013年6月	2013年5月	2013年4月	2013年3月	2013年2月
ドル/円	-0.2%	-3.1%	2.8%	4.1%	0.1%	0.1%	0.3%	-1.3%	-1.3%	3.1%	3.4%	1.8%	0.9%
ユーロ/ドル	2.3%	-1.9%	1.1%	0.1%	0.4%	2.3%	-0.6%	2.2%	0.1%	-1.3%	2.7%	-1.8%	-3.8%
ユーロ/円	2.1%	-4.9%	4.0%	4.2%	0.5%	2.4%	-0.3%	1.0%	-1.3%	1.8%	6.3%	-0.1%	-3.0%
ポンド/ドル	1.9%	-0.7%	1.2%	2.0%	-0.9%	4.4%	2.0%	0.0%	0.1%	-2.2%	2.2%	0.2%	-4.4%
ポンド/円	1.6%	-3.8%	4.0%	6.3%	-0.8%	4.5%	2.2%	-1.3%	-1.2%	0.9%	5.7%	2.0%	-3.5%
豪ドル/米ドル	1.9%	-1.8%	-2.1%	-3.7%	1.5%	4.7%	-0.9%	-1.7%	-4.5%	-7.7%	-0.5%	2.0%	-2.0%
豪ドル/円	1.7%	-4.8%	0.6%	0.3%	1.6%	4.8%	-0.6%	-3.0%	-5.8%	-4.8%	2.9%	3.8%	-1.1%
NZドル/米ドル	3.7%	-1.6%	1.1%	-1.7%	-0.4%	7.4%	-3.2%	3.2%	-2.6%	-7.2%	2.3%	1.5%	-1.7%
NZドル/円	3.5%	-4.6%	4.0%	2.4%	-0.3%	7.4%	-2.9%	1.9%	-3.9%	-4.2%	5.7%	3.3%	-0.8%
ドル/スイス	-2.9%	1.5%	-1.5%	-0.1%	0.2%	-2.7%	0.4%	-2.0%	-1.1%	2.8%	-2.1%	1.3%	2.9%
スイス/円	2.7%	-4.5%	4.3%	4.2%	-0.1%	2.9%	-0.1%	0.7%	-0.3%	0.4%	5.6%	0.4%	-2.0%
ドル/カナダ	-0.6%	4.8%	0.1%	1.8%	1.2%	-2.2%	2.5%	-2.3%	1.4%	3.0%	-1.0%	-1.3%	3.3%
カナダ/円	0.3%	-7.5%	2.7%	2.3%	-1.1%	2.3%	-2.2%	1.0%	-2.7%	0.1%	4.5%	3.1%	-2.4%
ドル/ランド	-3.3%	6.0%	3.1%	1.3%	0.2%	-2.5%	4.1%	0.0%	-2.1%	12.5%	-2.9%	2.3%	0.8%
ランド/円	3.2%	-8.5%	-0.4%	2.9%	-0.1%	2.7%	-3.8%	-1.1%	0.6%	-8.2%	6.4%	-0.5%	0.1%
ユーロ/ポンド	0.5%	-1.2%	0.0%	-2.0%	1.4%	-2.0%	-2.5%	2.3%	0.0%	0.9%	0.5%	-2.0%	0.6%
ユーロ/スイス	-0.6%	-0.4%	-0.3%	0.0%	0.7%	-0.5%	-0.2%	0.2%	-1.0%	1.4%	0.6%	-0.5%	-1.0%
ユーロ/豪ドル	0.4%	0.0%	3.3%	3.9%	-1.0%	-2.3%	0.3%	4.0%	4.8%	7.0%	3.2%	-3.7%	-1.9%
ドル/リアル	-2.8%	2.1%	1.1%	4.3%	1.0%	-7.1%	4.8%	2.0%	4.2%	7.0%	-1.0%	2.2%	-0.7%
ドル/人民元	1.4%	0.1%	-0.7%	0.0%	-0.4%	0.0%	-0.1%	-0.1%	0.0%	-0.5%	-0.7%	-0.2%	0.0%
ドル/ルビ	-1.4%	1.4%	-1.0%	1.6%	-1.8%	-4.7%	8.8%	1.7%	5.1%	5.0%	-0.9%	-0.1%	2.1%
NYダウ	4.0%	-5.3%	3.0%	3.5%	2.8%	2.2%	-4.4%	4.0%	-1.4%	1.9%	1.8%	3.7%	1.4%
DAX	4.1%	-2.6%	1.6%	4.1%	5.1%	6.1%	-2.1%	4.0%	-4.7%	5.5%	1.5%	0.7%	-0.4%
日経平均	-0.5%	-8.5%	4.0%	9.3%	-0.9%	8.0%	-2.0%	-0.1%	-0.7%	-0.6%	11.8%	7.3%	3.8%
NY金	6.6%	3.1%	-3.8%	-5.5%	-0.2%	-4.9%	6.3%	7.3%	-12.2%	-5.4%	-7.7%	1.1%	-5.0%
NY原油	5.2%	-0.9%	6.1%	-3.8%	-5.8%	-4.9%	2.5%	8.8%	5.0%	-1.6%	-3.9%	5.6%	-5.6%
米10年債利回り	0.1%	-12.7%	10.3%	7.5%	-2.1%	-6.2%	8.1%	3.6%	16.8%	27.3%	-9.6%	-1.4%	-5.5%
独10年債利回り	-2.1%	-14.0%	13.9%	1.1%	-5.9%	-4.1%	11.1%	-3.4%	14.8%	23.8%	-5.7%	-11.3%	-13.5%
日10年債利回り	-5.8%	-16.1%	22.5%	1.7%	-13.3%	-4.7%	-10.2%	-6.0%	-0.5%	40.7%	10.5%	-16.9%	-12.1%

※赤＝前月終値比で「+」 青＝前月終値比で「-」

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2014 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com